

ほろのべ・サロベツ鳥*NEWS

～サロベツ・秋の渡り鳥特集～

ヒシクイやマガンをはじめとした渡り鳥は毎年、越冬のための渡りの中継地としてサハリンやカムチャッカ半島からサロベツ原野へ飛来します。サロベツ原野はその中継地としての価値が認められ、水鳥の重要な飛来地としてラムサール条約湿地に登録されています。



ヒシクイ



マガン



人の気配に気付き、渡り鳥たちが牧草地から飛び立つ

(撮影：下沼牧草地にて)

	ヒシクイ・オオヒシクイ	マガン
体の色	全体的に暗褐色 腹以下の下面と上・下尾筒が白い	全体的に暗褐色 腹に不規則な黒斑がある
嘴(くちばし)	黒く、先端付近が橙色	桃橙色で、額にかけて白い
鳴き声	ギャハハン (ヒシクイ) ガハハン (オオヒシクイ)	クワハハン

10月下旬頃までサロベツ原野で休息し、その後本州の越冬地へと旅立ちます。北の果てからはるばる渡ってきた渡り鳥たちには是非、目を向けてみてはいかがでしょうか？

＼冬季閉館まで残り1ヶ月となりました／ 幌延ビジターセンター(下サロベツ原野園地)

開館時期：5月～10月 (11月～4月は冬季閉館)

開館時間：9時～17時 (期間中無休)

館内ではサロベツ原野を代表する植物や動物の生態などについて学べます。2階からは湿原を広く見渡せる望遠鏡が設置されています。ぜひ、木道を歩く前に館内を巡ってみましょう。



お知らせ

幌延町地域おこし協力隊Facebookでは、紙面に掲載していないお花や野鳥、原野の状況などを紹介しています。幌延町ホームページでは、花*NEWSのバックナンバーをご覧になることができます。



幌延町HP



地域おこし協力隊
Facebook

引き続きマスクの着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンスなど新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をお願いいたします。